安全データシート

作成日　2019 年 05 月 15 日
改訂日　2026 年 08 月 19 日

1．化学品及び会社情報		
製品名	EGDA	
化学品の名称	エチレングリコールジアセタート（Ethylene Glycol Diacetate）（EGDA）	
会社名	アーク株式会社	
住所	大阪市中央区安土町 3-5-13	
電話番号	06-6563-7710	
FAX 番号	06-6563-7720	
緊急連絡電話番号	06-6563-7710（上記電話番号に同じ）	
推奨用途及び使用上の制限	工業用（溶剤、原料等）	
2．危険有害性の要約		
GHS 分類	JIS Z 7252：2025 及び JIS Z 7253：2025（GHS に基づく化学品の分類方法及びラベル・SDS の作成方法、GHS 第 9 版準拠）に基づき分類	
分類結果	物理化学的危険性	該当する区分なし
	健康に対する有害性	該当する区分なし
	環境に対する有害性	該当する区分なし
GHS ラベル要素	絵表示又はシンボル	なし
	注意喚起語	なし
	危険有害性情報	なし
	注意書き	なし
その他の有害性	特記事項なし	
3．組成、成分情報		
化学物質／混合物の区別	化学物質	
化学名又は一般名	エチレングリコールジアセタート	
濃度又は濃度範囲	≧98.0%	
CAS RN	111-55-7	
別名	1,2-Diacetoxyethane、1,2-Ethanediol Diacetate、Ethylene Diacetate、Glycol Diacetate	
化学式	C6H10O4	
官報公示整理番号	化審法	(2)-665
	安衛法	公表化学物質
4．応急措置		
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。	
皮膚に付着した場合	直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。 皮膚を流水、シャワーで洗うこと。	

	皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。	
目に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。 コンタクトレンズを容易にはずせる場合は外して洗うこと。 眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。	
飲み込んだ場合	気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。 口をすすぐこと。	
想定される主な症状及び影響	吸入、皮膚接触又は眼への接触により刺激を生じるおそれがある（第 11 項参照）。	
応急措置をする者の保護及び医師に対する特別な注意事項	救助者はゴム手袋、密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。 医師に対する特別な注意事項：特記事項なし。	
５．火災時の措置		
消火剤	粉末、泡、水噴霧、二酸化炭素	
使ってはならない消火剤	棒状水	
特有の危険有害性	特記事項なし	
特有の消火方法	消火作業は、風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。 関係者以外は安全な場所に退去させる。 周辺火災時、移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。	
消火を行う者の保護	消火作業の際は、必ず保護具を着用する。	
６．漏出時の措置		
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	個人用保護具を着用する。 漏出場所の風上から作業し、風下の人を退避させる。 十分に換気を行う。 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。	
環境に対する注意事項	製品が排水路に排出されないよう注意する。	
封じ込め及び浄化の方法・機材	ウエス、乾燥砂、土、おがくずなどに吸収させて回収する。 大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。 付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分する。	
７．取扱い及び保管上の注意		
取扱い	技術的対策	取扱いは換気のよい場所で行う。 適切な保護具を着用する。 漏れ、あふれ、飛散しないよう注意し、みだりに蒸気を発生させない。 取扱い後は手や顔などをよく洗う。
	注意事項	蒸気やエアゾールが発生する場合には、換気、局所排気を用いる。
	安全取扱い注意事項	皮膚、眼および衣類との接触を避ける。
保管	適切な保管条件	容器を密栓して冷暗所に保管する。 酸化剤などの混触危険物質から離して保管する。
	安全な容器包装材料	法令の定めるところに従う。
８．ばく露防止及び保護措置		
許容ばく露濃度	管理濃度	設定されていない
	濃度基準値（安衛則第	設定されていない

	577 条の 2 第 2 項）	
	日本産業衛生学会許容濃度（2025 年版）	設定されていない
	ACGIH TLV-TWA	情報なし（設定なし）
設備対策	作業者が直接暴露されないように、できるだけ密閉化した設備又は局所排気装置を設ける。 取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける。	
保護具	呼吸器の保護具	防毒マスク、簡易防毒マスク等。
	手の保護具	保護手袋。
	目の保護具	保護眼鏡。状況に応じ保護面。
	皮膚及び身体の保護具	保護衣。状況に応じ、保護長靴。
９．物理的及び化学的性質		
物理的状態(20℃)	液体	
形状	透明	
色	無色～ ほとんど無色	
臭い	特異臭	
pH	情報なし	
融点	-31° C（凝固点）	
沸点/沸騰範囲	190℃	
引火点	96℃	
燃焼又は爆発範囲	下限	1.6%
	上限	8.4%
蒸気圧	1.03Pa/25° C	
蒸気密度	5.0	
比重	1.11	
溶解度	[水]	可溶(178g/L, 24.5° C)
	[その他の溶剤]	混和： エーテル, アルコール
オクタノール/水分配係数	0.10/0.38	
自然発火温度	482℃	
10．安定性及び反応性		
反応性	情報なし	
化学的安定性	適切な条件下においては安定。	
危険有害反応可能性	特別な反応性は報告されていない。	
混触危険物質	酸化剤、強酸、強塩基、還元剤	
危険有害な分解生成物	二酸化炭素、一酸化炭素	
11．有害性情報		
急性毒性	経口：orl-rat LD50　6,850 mg/kg（GHS 区分に該当しない） 経口：orl-gpg LD50　4,940 mg/kg 経皮：skn-rbt LD50　8,480 µL/kg（GHS 区分に該当しない）	

	腹腔内：ipr-mus LD50　1,190 mg/kg（参考データ。GHS 急性毒性の対象経路（経口・経皮・吸入）には該当しない）	
皮膚腐食性／刺激性	情報なし	
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	eye-rbt　500 mg（軽度）	
呼吸器感作性又は皮膚感作性	情報なし	
生殖細胞変異原性	情報なし	
発がん性	IARC：情報なし NTP：情報なし	
生殖毒性	情報なし	
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	情報なし	
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	情報なし	
誤えん有害性	情報なし	
その他の情報	RTECS 番号　KW4025000	
12. 環境影響情報		
生態毒性	魚類	情報なし
	甲殻類	情報なし
	藻類	情報なし
残留性/分解性	情報なし	
生体蓄積性(BCF)	1.2	
土壌中の移動性	オクタノール/水分配係数	0.10/0.38
	土壌吸着係数(Koc)	10
	ヘンリー定数(Pa・m3/mol)	8.3×10^{-3}
オゾン層への有害性	情報なし	
13. 廃棄上の注意		
廃棄物処理の注意事項	適切な保護具を着用する。 地方条例や国内規制に従う。 焼却処理する場合には、アフターバーナー及びスクラバーを備えた焼却炉で焼却する。 空容器を処分する時は、内容物を完全に除去した後に行う。 処理施設がないなどの理由で廃棄できない場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。	
14. 輸送上の注意		
国連分類	国連の分類基準に該当せず。	
国連番号	該当なし。	
海上規制情報	海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律（海防法）施行令別表第 1（有害液体物質）Y 類物質に該当。ばら積み輸送等にあたっては同法の規定に従う。	

輸送の特定の安全対策及び条件	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行い、法令の定めるところに従う。
15. 適用法令	
労働安全衛生法	非該当
消防法	第 4 類　第三石油類　危険等級Ⅲ　非水溶性　（指定数量：2,000L）
化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）	官報公示整理番号(2)-665 （優先評価化学物質・監視化学物質・特定化学物質のいずれにも非該当）
毒物及び劇物取締法	非該当
化学物質排出把握管理促進法（化管法・PRTR 法）	非該当
海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律（海防法）	有害液体物質　Y 類物質に該当（施行令別表第 1(55)）
16. その他の情報	
免責事項	本安全データシート（SDS）に記載した内容は、現時点で入手可能な資料及び情報に基づいて作成したものであり、記載内容の完全性及び正確性を保証するものではありません。また、本 SDS は今後、新たな知見や法令改正等により、予告なく内容を変更することがあります。 お取引先各位におかれましては、本 SDS の情報を、当該製品を安全に取扱うための参考情報としてご利用いただき、実際の取扱いにあたっては、自らの用途・使用条件・作業環境等に応じて必要な安全対策を講じるとともに、関連法令を遵守してくださいますようお願いいたします。 本 SDS は製品の品質を保証するものではなく、本 SDS の記載内容に関連して生じた損害について、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。